



証券コード：3150



2025年3月期 第1四半期決算短信補足資料

株式会社グリムス（証券コード：3150）

2024年8月9日

<https://www.gremz.co.jp/>

2025年3月期 第1四半期決算概要

連結業績ハイライト（前年同期比）



単位：百万円	2024/3期1Q（実績）		2025/3期1Q（実績）		前年同期比	
	実績	利益率（%）	実績	利益率（%）	増減額	増減率（%）
売上高	7,507		7,653		+145	+1.9%
営業利益	1,863	24.8%	1,663	21.7%	▲200	▲10.7%
経常利益	1,886	25.1%	1,709	22.3%	▲176	▲9.4%
親会社株主 帰属四半期利益	1,277	17.0%	1,155	15.1%	▲121	▲9.5%

- 売上高は、ECS事業が前年同期比115.9%と大きく伸長し、全社売上は145百万円増加（+1.9%）
- 営業利益は、小売電気事業において、電力市場価格の低下により燃料調整費が前年同期比で323百万円減少し、減益の要因（1Qのみの特殊要因）となり、全社営業利益は200百万円の減少（▲10.7%）
（小売電気事業の減益要因についてはP6で説明）
- 各セグメントとも、売上高・営業利益は計画以上で推移（全体営業利益の進捗率25.6%）

連結業績ハイライト（前年同期比）



	2024/3期1Q (実績)		2025/3期1Q (実績)		前年同期比	
	金額	対売上高	金額	対売上高	増減額	増減率
売上高	7,507	100.0%	7,653	100.0%	+145	+1.9%
ECS事業	2,222	29.6%	2,574	33.6%	+352	+15.9%
SHP事業	1,292	17.2%	1,140	14.9%	▲151	▲11.8%
小売電気事業	3,993	53.2%	3,938	51.5%	▲55	▲1.4%
売上総利益	2,834	37.7%	2,816	36.8%	▲17	▲0.6%
ECS事業	1,344	60.5%	1,560	60.6%	+216	+16.1%
SHP事業	580	44.9%	458	40.2%	▲121	▲21.0%
小売電気事業	909	22.8%	797	20.2%	▲111	▲12.3%
営業利益	1,863	24.8%	1,663	21.7%	▲200	▲10.7%
ECS事業	976	43.9%	1,138	44.2%	+162	+16.7%
SHP事業	271	21.0%	142	12.5%	▲129	▲47.7%
小売電気事業	788	19.8%	652	16.6%	▲136	▲17.3%
管理共通費	▲173	-	▲270	-	▲96	-
経常利益	1,886	25.1%	1,709	22.3%	▲176	▲9.4%
四半期純利益	1,277	17.0%	1,155	15.1%	▲121	▲9.5%

※ECS事業（エネルギーコストソリューション事業）：(株)GRコンサルティング、(株)グリムスエナジー、(株)グリムスパワー、(株)グリムスソーラー

※SHP事業（スマートハウスプロジェクト事業）：(株)グリムスソーラー

※小売電気事業：(株)グリムスパワー

Copyright© gremz, Inc All Rights Reserved

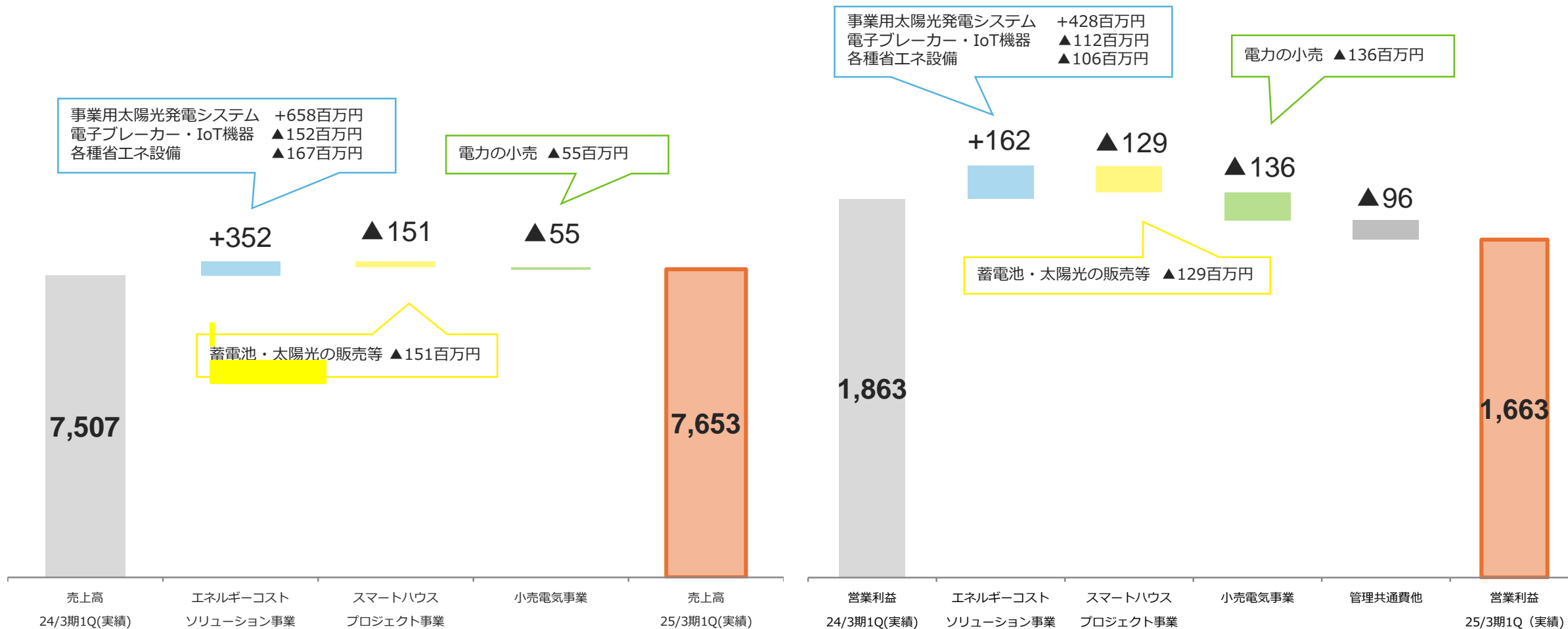
セグメント別業績ハイライト (売上高・営業利益)

(百万円)

売上高の増減要因 (前年同期比)

(百万円)

営業利益の増減要因 (前年同期比)



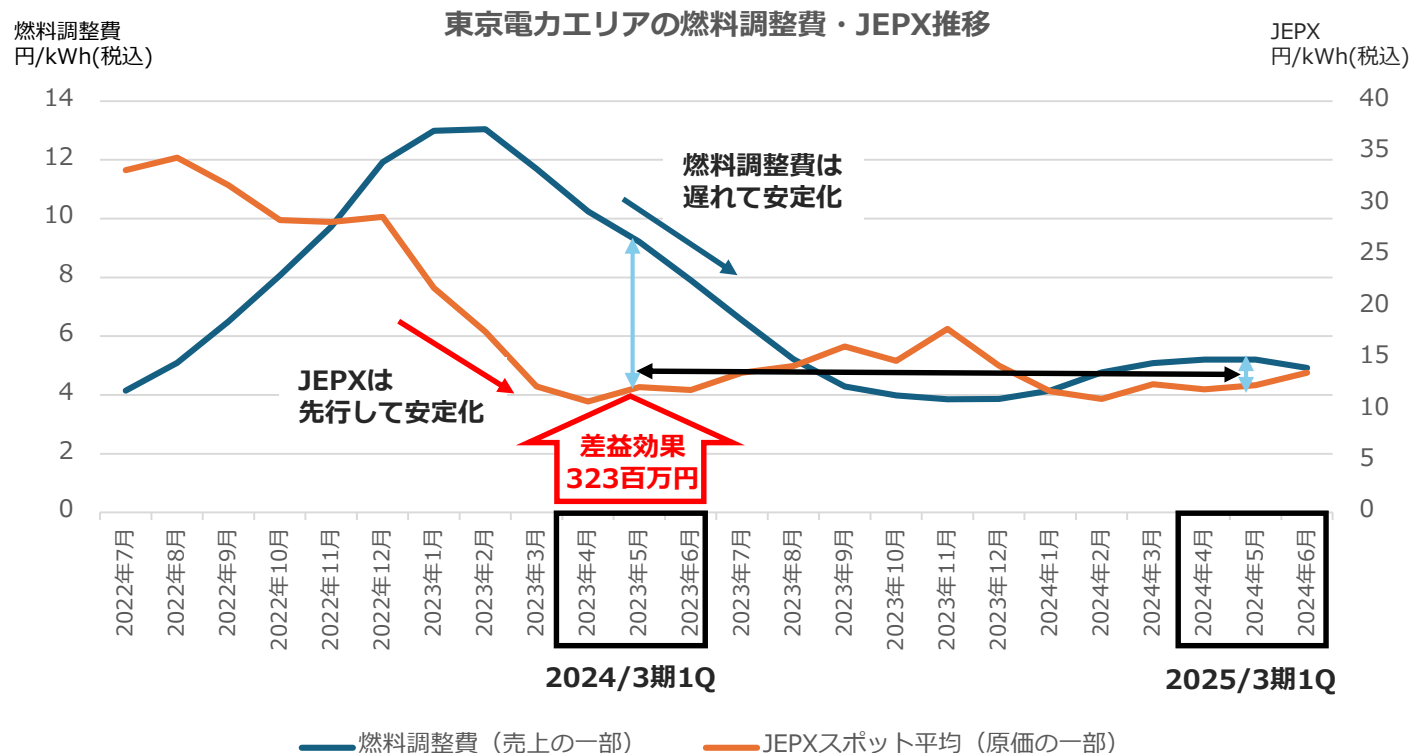
小売電気事業の前期差異について

各月の売上に計上される燃料調整費は、3～5か月前の燃料貿易統計価格にもとづいて算定されるため、期ズレが発生する。

前期1Qは燃料調整費の期ズレにより、当期1Q比+323百万円の差益効果（1Qのみの特殊要因）があったため、▲136百万円の営業減益となったが、計画は上回って推移している。

燃料調整費（売上の一部）の算定期間と電気料金への反映時期

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
11～1月の燃料貿易統計価格					4月分 電気料金		
12～2月の燃料貿易統計価格					5月分 電気料金		
1～3月の燃料貿易統計価格						6月分 電気料金	



貸借対照表 (B/S)

自己資本比率は62.4% 良好な財務基盤を維持

(単位：百万円)	2024/3/末	2024/6/末	増減額	主な増減要因	
流動資産	16,913	16,766	▲147	商品 売掛金 未収還付消費税等	▲274 +46 +48
固定資産	4,698	4,594	▲104	繰延税金資産	▲166
資産合計	21,612	21,361	▲251		
流動負債	5,810	5,199	▲611	未払法人税等	▲684
固定負債	2,810	2,749	▲61	長期借入金	▲69
負債合計	8,620	7,948	▲672		
純資産合計	12,991	13,413	+421	包括利益 剰余金の配当	+1,154 ▲739
負債・純資産合計	21,612	21,361	▲251		

2025年3月期 業績予想及び配当予想

■ ECS事業

今期業績拡大を牽引。主として中小企業の工場等の屋根に太陽光発電システムを設置し、創った電気を工場で利用（自家消費）していただくことで電気料金を削減いたします。中小企業をメインターゲットとすることで他社との差別化を図ります。自家消費しきれない余剰電力の有効活用のため、蓄電池とのセット販売も増加していく計画です。

■ SHP事業

FIT制度が満了した家庭向けに蓄電池を導入する大きな潜在需要が存在しています。当面は安定的な業績推移を図る方針です。

■ 小売電気事業

前期まではリスクヘッジを可能とするビジネスモデルの確立を徹底してきました。逆ザヤリスクを回避して安定収益を見込めるビジネスモデルが確立できたことに加え、先物価格が前期初より安定していることから、今期は契約口数の増加による成長（期初5万8,000口→期末6万3,000口）を図ります。

■ 全社業績

積極的な人材投資を図り、ECS事業の拡大と小売電気事業の着実な成長により、今期も過去最高営業利益の更新を見込みます。1Q営業利益の進捗率は25.6%。

2025年3月期業績予想



(単位：百万円)	2025/3期1Q (実績)		2025/3期2Q累計 業績予想 (2024年5月15日発表)		2025/3期業績予想 (2024年5月15日発表)		1Q 進捗率 (対通期)	2024/3期業績 (実績)	
	金額	対売上高	金額	対売上高	金額	対売上高		金額	対売上高
売上高	7,653	100.0%	16,500	100.0%	34,000	100.0%	22.5%	29,908	100.0%
ECS事業	2,574	33.6%	5,311	32.2%	10,906	32.1%	23.6%	7,734	25.9%
SHP事業	1,140	14.9%	2,183	13.2%	4,310	12.7%	26.5%	4,440	14.8%
小売電気事業	3,938	51.5%	9,005	54.6%	18,783	55.2%	21.0%	17,733	59.3%
売上総利益	2,816	36.8%	5,550	33.6%	11,200	32.9%	25.1%	9,257	31.0%
ECS事業	1,560	60.8%	3,241	61.0%	6,654	61.0%	23.5%	4,645	60.1%
SHP事業	458	40.2%	910	41.7%	1,803	41.8%	25.4%	1,845	41.6%
小売電気事業	797	20.2%	1,398	15.5%	2,742	14.6%	29.1%	2,766	15.6%
営業利益	1,663	21.7%	3,250	19.7%	6,500	19.1%	25.6%	5,217	17.4%
ECS事業	1,138	44.2%	2,266	42.7%	4,575	42.0%	24.9%	3,030	39.2%
SHP事業	142	12.5%	283	13.0%	575	13.4%	24.7%	587	13.2%
小売電気事業	652	16.6%	1,107	12.3%	2,082	11.1%	31.3%	2,267	12.8%
管理共通費	▲270	-	▲407	-	▲733	-		▲668	-
経常利益	1,709	22.3%	3,304	20.0%	6,570	19.3%	26.0%	5,268	17.6%
当期（四半期）純利益	1,155	15.1%	2,190	13.3%	4,320	12.7%	26.8%	3,540	11.8%

※ECS事業（エネルギーコストソリューション事業）：(株)GRコンサルティング、(株)グリムスエナジー、(株)グリムスパワー、(株)グリムスソーラー

※SHP事業（スマートハウスプロジェクト事業）：(株)グリムスソーラー

※小売電気事業：(株)グリムスパワー

Copyright© gremz, Inc All Rights Reserved

事業者向け

電気料金削減コンサルティング
及び各種省エネ設備の販売

事業者向け

事業用太陽光発電システム、
IoT機器及び
各種省エネ設備の販売

セグメント営業利益

30億円

2024年3月期実績



セグメント営業利益

45億円

2025年3月期計画

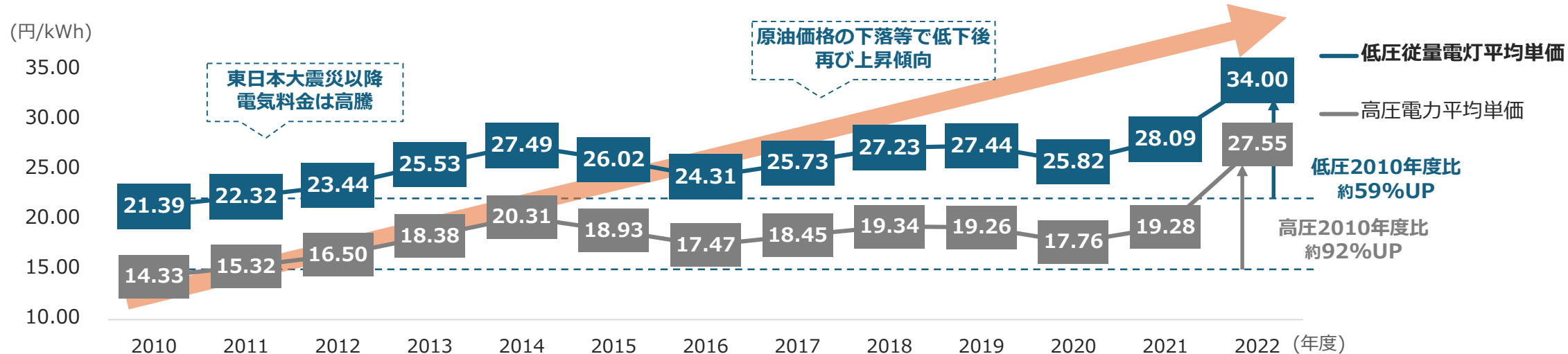
運用・設備・調達改善のトータルソリューションを提供

運用改善	設備改善
<p>電気の使用方法や契約内容を見直しによる 電力基本料金の削減</p>	<p>省エネ効果の高い設備の変更による 電力使用料金の削減</p>
<p>IoT機器 IoTセンサーにより 電力消費量を遠隔監視</p> 	<p>事業用太陽光発電システム 工場の屋根などに太陽光発電システムを 設置し、創った電気を利用することで 電気料金を削減</p> 
<p>電子ブレーカー 契約の見直しとともに 導入することで、機械設備の 安定稼働と電気料金の削減</p> 	<p>LED照明 消費電力を抑え、 製品寿命は蛍光灯の約4倍</p>  <p>業務用エアコン / トランス / 各種省エネ設備</p>

リソースを集中

当社ECS事業が拡大する背景

東日本大震災以降、電気料金の高騰が継続。太陽光導入による顧客の経済メリットが傾向的に拡大



■ 当社のターゲットである低圧顧客の電気料金

東京電力エナジーパートナー(株)の従量電灯B・Cの場合 (2024年5月現在)

	単位	単価(税込)
基本料金	kVA	311.75円
電力量料金	~120kWh	29.80円
	120~300kWh	36.40円
	300kWh~	40.49円
燃料調整額	kWh	月毎に変動
再エネ賦課金	kWh	3.49円

■ 他社がターゲットにしている高圧顧客の電気料金

東京電力エナジーパートナー(株)の高圧電力Aの場合 (2024年5月現在)

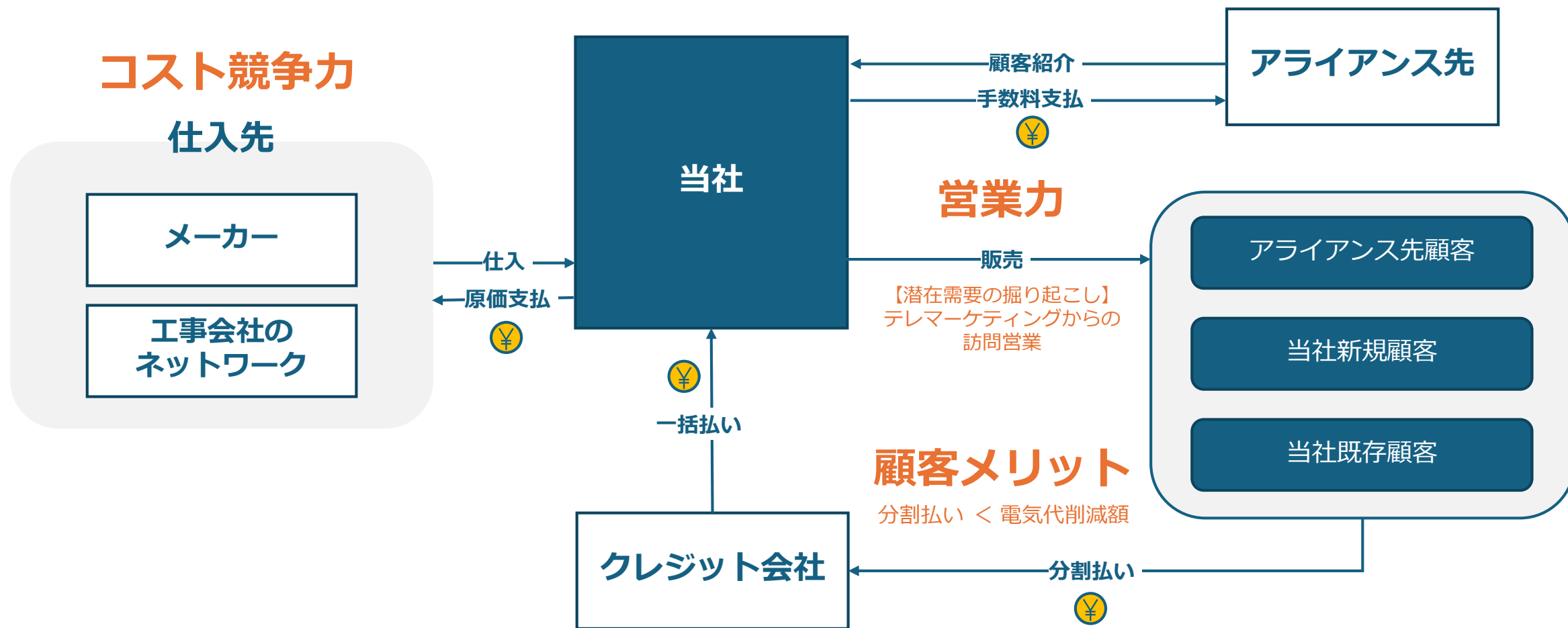
	単位	単価(税込)
基本料金	kVA	1,390.87円
電力量料金	夏季	20.41円
	その他季	19.28円
燃料調整額	kWh	月毎に変動
再エネ賦課金	kWh	3.49円



太陽光発電システムを導入することで、枠内の単価で電気を購入する代わりに、10円台前半/kWhで電気を創ることができる。当社のターゲットは低圧顧客であるため、顧客の経済メリットは大きく、顧客満足度は高いものとする。

事業用太陽光の収益構造

機器調達と工事発注の一括施工管理、独自営業に加えアライアンス先からの顧客紹介も利用した営業力、クレジット会社を活用したファイナンス提案などにより、顧客満足度の高いビジネスモデルを確立



小売電気事業の安定ストック化

- 低圧はフェーズ1からフェーズ3のリスクヘッジ策を重ねて実施済み。高圧は市場連動型に特化。
- 今期以降は契約口数の増加による安定成長を目指す

電圧種別	リスクヘッジ策		損益分岐点となる電源調達価格
低圧	フェーズ1	基本料金の割合が高く、販売単価が比較的高い顧客層（24年3月期の負荷率※ 平均9.0%）を中心に獲得	約17.5円/kWh (独自燃調なしの場合)
	フェーズ2	独自燃調（卸電力取引市場からの調達コストの一部を電気代に反映する仕組み）を全顧客へ導入済み	約40円/kWh (独自燃調効果 約22.5円/kWh)
	フェーズ3	独自燃調でカバーできないリスクポジション分（低圧需要の約30%）を相対電源でカバー	損益分岐点は存在しない (逆ザヤリスクを回避)
高圧	市場連動型（卸電力取引市場からの調達コストを完全に電気代に反映する仕組み）に特化		損益分岐点は存在しない (逆ザヤリスクを回避)

※ 負荷率：年間消費電力量【kWh】÷（契約電力【kW】×24時間×365日）×100

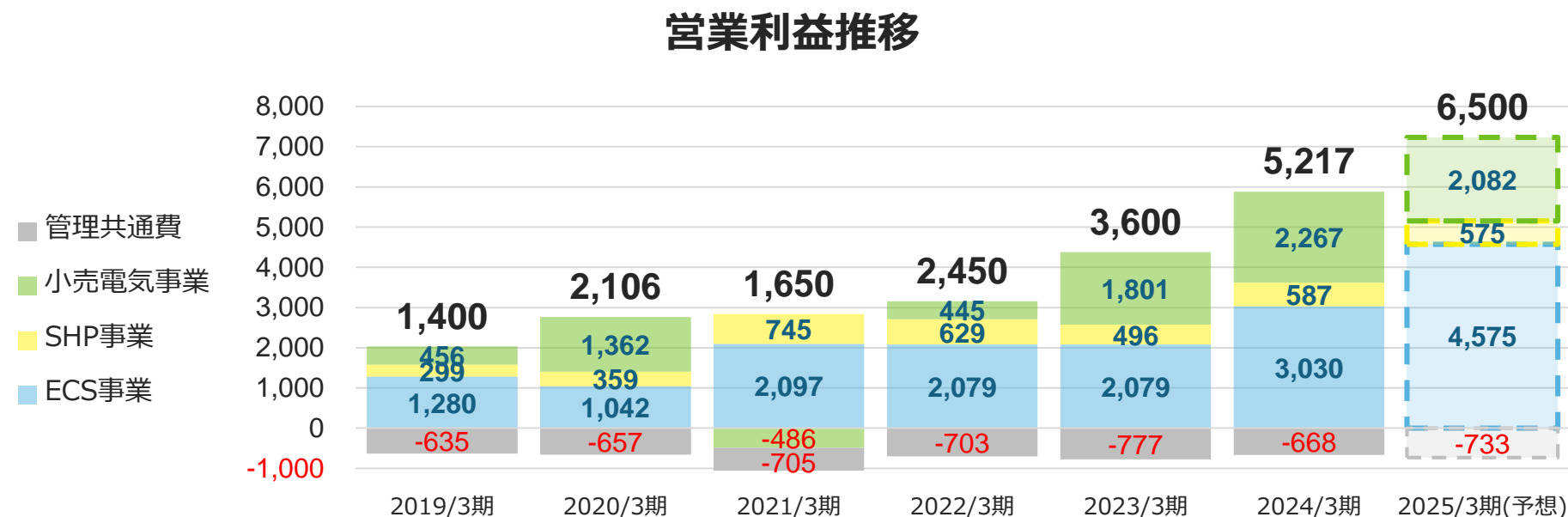
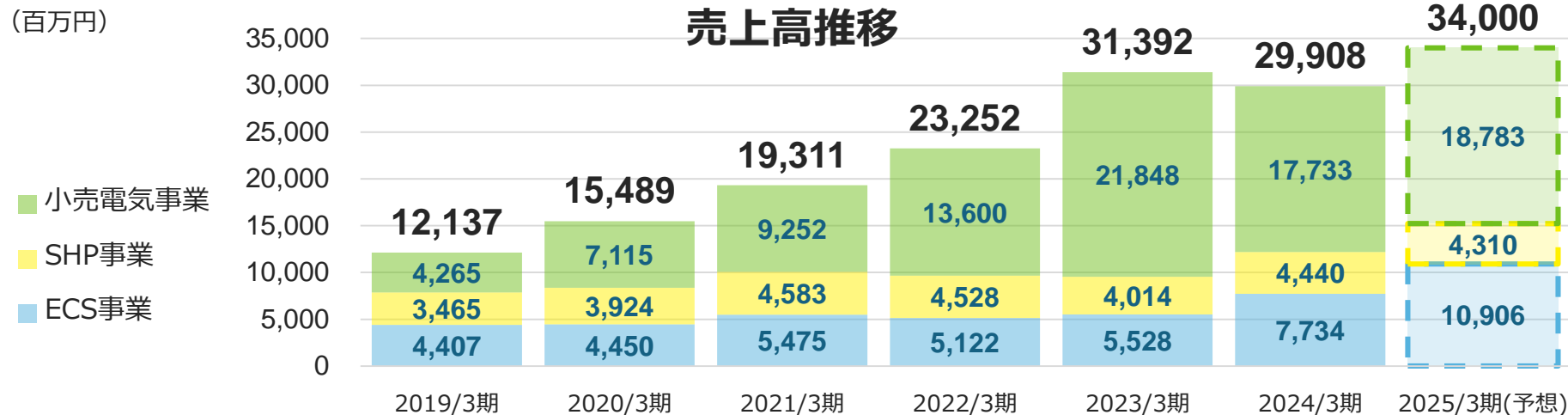
電源調達環境は前期より好転（市場価格の計画は先物価格を参照）

調達種別	24年3月期 期初計画	24年3月期 実績	25年3月期 計画
市場価格	16.30円/kWh ※1	11.50円/kWh	13.71円/kWh ※2
相対電源価格	22.88円/kWh	22.31円/kWh	12.91円/kWh

※1 2023年4月25日時点のTOCOM電力先物価格を当社の調達計画で加重平均

※2 2024年4月30日時点のTOCOM電力先物価格を当社の調達計画で加重平均

連結業績ハイライト（売上高・営業利益）



2025/3期計画

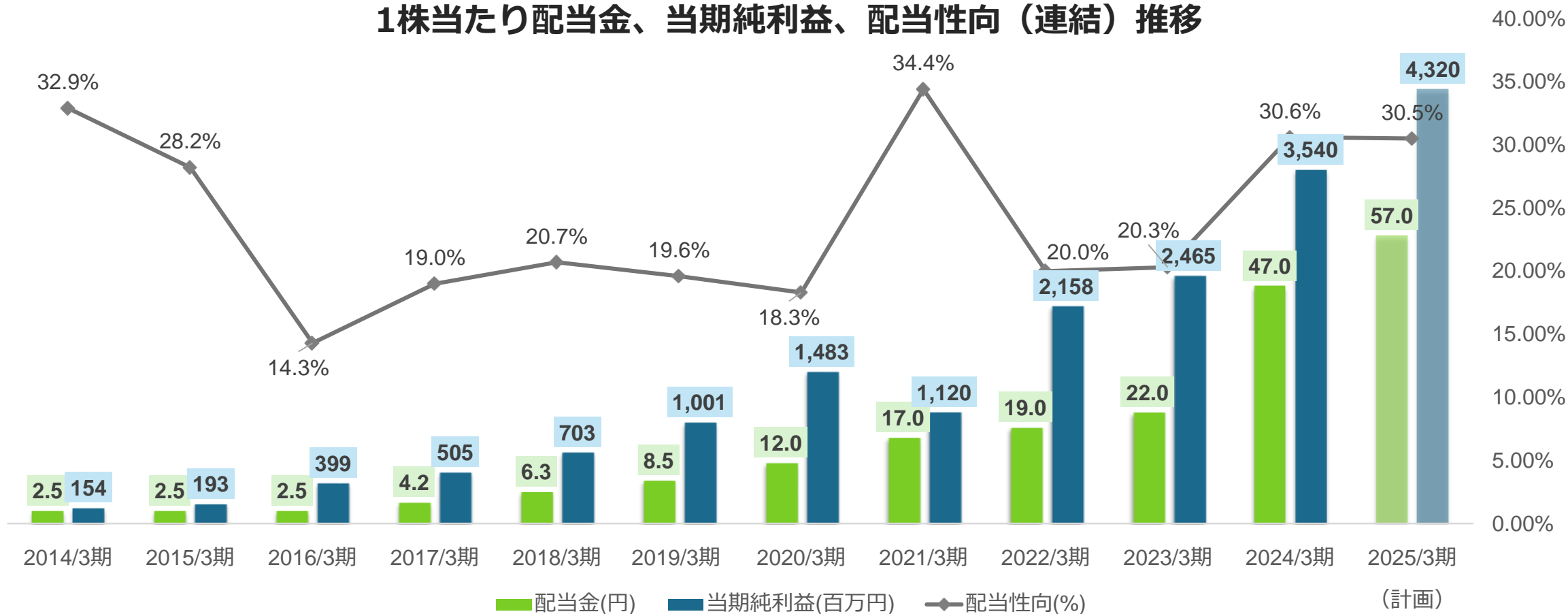
- 売上高 34,000百万円
(前期比+13.7%)
- 営業利益 6,500百万円
(前期比 +24.6%)

過去最高益を更新

2025年3月期配当予想

2024/3期より配当性向30%を目安として配当を実施
2025/3期の配当予想は中間配当20円+期末配当37円

1株当たり配当金、当期純利益、配当性向（連結）推移



※1株当たり配当金は、2014年1月1日の1：2、2017年10月1日の1：1.5、2018年8月1日の1：2、2020年9月1日の1：2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

グリムスのESG

グリムスは、「省エネ・創エネ・蓄エネ」を事業領域として、
環境に優しい商品・サービスを提供することで成長を続け、
豊かで安心して暮らせる社会の構築と持続的な発展に貢献いたします。

Environment

- 省エネ性能の高い商品の販売を通じて、エネルギー効率の改善に貢献いたします。
- 太陽光発電システムや蓄電池など再生可能エネルギー関連商品の販売を通じて、脱炭素社会の構築に貢献いたします。
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言への賛同を表明しています。

Society

- 社会のニーズを意識した商品・サービスを提供することで、常に社会と共に発展することを目指します。

Governance

- 取締役会メンバーの1/3以上を社外取締役で構成（うち1名は女性）することで取締役の職務執行の適正性を保持するとともに、コンプライアンス委員会及びリスク管理委員会において経営上の重要な課題の評価と管理を行っています。

関連するSDGs目標



すべての人に感動と喜びを

Filling the World with Inspiration and Joy

変化する環境の中で常に感謝、応援され永続的に社会と共存する企業群を目指します。
情報格差をなくし高い価値の普及に尽力し、豊かで安心して暮らせる社会の構築に寄与します。

経営ビジョン

顧客

お客様が当社グループからのサービスを安心して享受出来る企業群を目指します。

社員

社員が当社に勤めることを誇りに思い、自分の人生を懸けて働ける企業群を目指します。

株主

株主様にとって当社の成長が永続的な喜びとなる企業群を目指します。

社会

常に社会のニーズを敏感に察知し、求められた価値を提供する企業群を目指します。

本資料に関するお問い合わせ

TEL 03-5769-3500

ir@gremz.co.jp

(免責事項)

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承ください。